



平岡 清樹 議員

ウエルピア伊予
グラウンドの利用促進

問

活力を投入。えひめ国体を3年後に控え、ウエルピア伊予グラウンドの一部を改修し、全国の大学野球キャンプ、合宿の誘致を行い官民協働で野球王国伊予市を目指して活性化させよう。

答 久保産業建設部長

ウエルピア伊予野球場は、年間で約150日利用されており、特に土曜日曜は、ほとんど使用している状況である。

大学を含む野球キャンプを誘致するには、一般利用者の調整等の条件整

備が必要であり、今しばらく検討を重ねて、今以上に積極的に鋭意取り組みたい。

また、ウエルピア伊予グラウンドは完成後30年余り経過し、経年劣化が見られ、整備充実には施設全体の問題もあるため、今後は運営の在り方を広く見直す中で、方向性を検討したい。

本市の誘致に対する率先した支援や補助は、野球のみならず、他のスポーツも含め、本市として何が行えるかを今後、関係部局と連携し、研究検討を行いたい。

各県に被害続出、
本市の集中豪雨対策

問

近県の甚大な被害を本市と置き換えて考える必要がある。天災から人災へ変化する可能性に危機感を持ち、災害を想定す

ることで防げる被害もある。その対策を。

答 長尾総務部長

本市では、河川や海岸の洪水、津波または高潮等の水災害を警戒、防御するために伊予市水防計画を作成し、毎年見直しを行っている。

この計画の中で、水防業務を円滑に実施できるための整備や市民の避難活動が迅速に実施されるように、避難勧告等の判断基準や伝達内容等を具体的に定めている。

雨水による浸水被害について、浸水想定区域や浸水箇所を記載したハザードマップは作成していない。

当面は、今後見込まれる総合防災マップ改訂の際に、ため池ハザードマップのデータとともに、過去の豪雨被害で浸水被害の生じた箇所をマップ上に示すことも検討したい。



流水に支障を来している河川

答

久保産業建設部長

本市を流れている県管理河川は合計63河川あり、維持管理について、緊急度、優先度の高い箇所から県が対応している。現在、大規模な改修計画はなく、災害等が発生して初めて被災箇所の復旧を行っているのが現状である。

今後、地域住民の要望や現場の状況を的確に把握し、根本的な改修を早期に実施するよう県に強く要望、要請を行い、地元に対して用地協力等の対応を行いたい。

湊町臨海埋立造成地の
今後の展開

問

大震災後の海岸埋立地の地価変動の下落を直視し、現実的な売却金額の交渉をして、優良企業誘致を。

答

武智市長

市としては、県企業誘致立地パンフレットへの情報掲載を行い、企業誘致促進条例の活用を図るため、県に情報提供し、照会のあった企業については、誠意を持って対応している。

分譲価格の決定は、その都度、県が土地鑑定を行い決定するため、市が関与できる立場にない。

今後も、県との連携を密にし、津波対策の対応等を含め、企業誘致及び有効利用に向けた方策を検討、協議していく考えである。